



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

明治大学校友会

千葉県西部支部だより

第20号
2024年
夏

発行：明治大学校友会千葉県西部支部

〒279-0003 千葉県浦安市海楽1-3-8

発行人：山中 勇

新支部長就任挨拶

千葉県西部支部 支部長



山中 勇

私は、昨年の6月18日に開催されました千葉県西部支部総会において支部長に選任されました。山中勇です。昭和49年に法学部を卒業いたしました。浦安地域支部に所属しております。

支部長に選任され、改めて支部の活動について考えることがありました。私が申し上げるまでもなく、支部は、「校友会本部が実施する活動に積極的に参加する」とともに、「会員相互の親睦・交流を図り」、「地域社会に貢献する」ことを目的としております。このことを改めて再認識するとともに、先人諸先輩方が築き上げてくれた成果を維持・発展させ、これを次代に引き継いでいかなければならないと決意を新たにいたしましたところ

さて、当支部の活動は、我孫子、柏、流山、松戸、市川、船橋及び浦安の各地域支部の会員の皆様の御支援、御協力により成り立っております。当支部の安定的な運営は、各地域支部の健全かつ安定的な運営なくしてはあり得ないと言っても過言ではないと思っております。しかし、最近になり、一部の小規模な地域支部においては参加する会員の減少により、運営が難しくなっているところが出てきていることも事実としてあります。このような地域支部においては、会員の拡大が喫緊の課題であり、その解決のためには参加してもらえらるような魅力的な活動を行っていくことが求められます。そして、これに対し当支部の役割として何をすべきか、何ができるかということを考えていかなければいけません。

一例を挙げましたが、当支部も発足して20年を経過しており、この間、支部を取り巻く環境も大きく変化しております。したがって、充実した支部活動を確保するためには、この変化に対し適切に対応していくことが求められております。私といたしましては、支部役員会において知恵を出し合い、適切な対応策を見出し、着実に実行していきたいと思っております。会員の皆様の暖かい御理解、御支援をお願いする次第です。

本年も、皆様と共に、母校明治大学の益々の発展を願うとともに、東京六大学野球やラグビー、箱根駅伝など、学生スポーツの応援を楽しみたいと思っております。

令和6年度総会は浦安で開催

令和6年度の千葉県西部支部総会は浦安地域支部が担当し、開催されます。

日時	令和6年6月22日(土)	11時00分～(総会) 12時15分～(懇親会)
場所	オリエンタルホテル東京ベイ JR京葉線「新浦安駅」下車 徒歩1分	
会費	8,500円(懇親会)	

各地域支部の校友の皆様方のご参加をお待ちしております。



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

明治大学校友会

千葉県西部支部だより

第20号
2024年
夏

発行：明治大学校友会千葉県西部支部

〒279-0003

千葉県浦安市海楽1-3-8

発行人：山中 勇



新支部長就任挨拶

千葉県西部支部 支部長

山中 勇

私は、昨年の6月18日に開催されました千葉県西部支部総会において支部長に選任されました。山中勇です。昭和49年に法学部を卒業いたしました。浦安地域支部に所属しております。

支部長に選任され、改めて支部の活動について考えることができました。私が申し上げるまでもなく、支部は、「校友会本部が実施する活動に積極的に参加する」とともに、「会員相互の親睦・交流を図り」、「地域社会に貢献する」ことを目的としております。このことを改めて再認識するとともに、先人諸先輩方が築き上げてくれた成果を維持・発展させ、これを次代に引き継いでいかなければならないと決意を新たにいたしましたところ

さて、当支部の活動は、我孫子、柏、流山、松戸、市川、船橋及び浦安の各地域支部の会員の皆様の御支援、御協力により成り立っております。当支部の安定的な運営は、各地域支部の健全かつ安定的な運営なくしてはあり得ないと言っても過言ではないと思っております。しかし、最近になり、一部の小規模な地域支部においては参加する会員の減少により、運営が難しくなっているところが出てきています。事実としてあります。このような地域支部においては、会員の拡大が喫緊の課題であり、その解決のためには、参加してもらえらるような魅力的な活動を行っていくことが求められます。そして、これに対し当支部の役割として何をすべきか、何ができるかということを考えていかなければいけません。かと思っております。

一例を挙げましたが、当支部も発足して20年を経過しており、この間、支部を取り巻く環境も大きく変化しております。したがって、充実した支部活動を確保するためには、この変化に対し適切に対応していくことが求められております。私といたしましては、支部役員会において知恵を出し合い、適切な対応策を見出し、着実に実行していきたいと思っております。会員の皆様の暖かい御理解、御支援をお願いする次第です。

本年も、皆様と共に、母校明治大学の益々の発展を願うとともに、東京六大学野球やラグビー、箱根駅伝など、学生スポーツの応援を楽しみたいと思っております。

令和6年度総会は浦安で開催

令和6年度の千葉県西部支部総会は浦安地域支部が担当し、開催されます。

日時	令和6年6月22日(土)	11時00分～(総会) 12時15分～(懇親会)
場所	オリエンタルホテル東京ベイ JR京葉線「新浦安駅」下車 徒歩1分	
会費	8,500円(懇親会)	

各地域支部の校友の皆様方のご参加をお待ちしております。

松戸地域支部

松戸地域支部長

就任のご挨拶



私は、昨年の4月より松戸地域支部長を仰せつかりました田居照康(たいてるやす)と申します。

中山高春前支部長より引継ぎ、松戸地域支部の運営に当たってまいりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。私は昭和48年3月に経営学部を卒業し、すぐに家業であります運送会社とタクシー会社に就職しました。現在は、両社の代表取締役として経営の任に当たっております。

生まれも育ちも松戸市幸田(こうで)であり、75年の年月が過ぎ去ろうとしています。

さて私が明治大学校友会松戸地域支部との関わりを持ったのは、支部創立が正式に認可された平成10年11月の2年くらい前からで、初代支部長となる清水潔氏の下、会員を集めて創立準備の活動をしていた頃です。創立から、早や20数年が過ぎ去り、時の流れの速

さに驚くばかりです。

これまで、毎年の松戸地域支部総会、千葉県西部支部総会、全国校友大会等への参加、マンドリンコンサートの開催等、会員の親睦と地域貢献をモットーに活動してまいりました。

昨年4月からの活動につきましては、前執行部に引き続き支部会員名簿の拡充と新会員の獲得に力を注いだ結果、現在会員数は、三百名弱を数えます。就任早々には、他の地域支部の総会にも参加させていただき、貴重な経験もさせて頂きました。10月には、4年ぶりに開催された松戸まつりに松戸地域支部のブースを設けて、明治大学のPRと新会員の勧誘を実施して、数名ではあります新たな会員を増やすことができました。

11月にはコロナ禍も残る中、昨年に引き続き対面での総会を実施させていただきました。来賓含め、45名の出席のもと、通常議案のほか規約改定議案(総会開催時期変更)の承認をいただき、本年より総会開催時期を従来の11月から、他地域支部同様の時期(5月〜6月頃)に変更することになりました。

明治大学への思い入れが強い会員として引き続き支部運営を行ってまいりますので、今後ともご支援ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。

(昭和48年経営学部卒 田居 照康)

浦安地域支部

活動再開

みんなで集まりましょう

令和6年の幕が開け、4月新しい年度の幕開けです。母校のラグビーと箱根駅伝は残念と言えれば残念。順当と言えれば順当な結果に終わりました。春には東京六大学野球が始まります。楽しい一年になることを期待しています。

浦安地域支部では、ちよつと遅い「コロナ明け」で活動をスタートさせます。さて、課題を挙げると「会員増」が挙げられます。が、なかなかこれは難しく、かと言って手を拱いていても先に進むこともないので、名案はないかと思案中です。何しろ、今年60歳になる私(服部)が若手らしいので……

今、現在私が参加している大学関係の活動は「OB OG交流会」。月1回程度駿河台で夜に開催されています。2月開催時には北野大氏(明治大学校友会会長)と校友会副会長の甲斐道明氏(昭和47年商卒 大阪府支部)もいらっしゃっていました。甲斐氏は私が大阪単身赴任時にお世話になりました。

大阪府支部では「三金会」と称して毎月第3金曜日に集まっており、これが大きな支えになったことを覚えていきます。「単身赴任は月に1度一緒に飲んでくれれば寂しくない」というのを

実感しました。私も宴会幹事を担当、サイゼリヤで三十名強を集め「三金会」を開催したことを覚えていきます。浦安地域支部の大きさですと月1回の集まりは難しい(話すことがなくなる)のですが、OB OG交流会や大阪府支部のノウハウを少しずつ生かしていきたいと考えています。とりあえず、花見から始めましょうか、千葉西部支部の総会も浦安で開催されますし。

(昭和63年政経学部卒 服部真樹)

我孫子地域支部

コロナ禍が過ぎ

一步前へ前進しよう!

令和5年5月8日からコロナ感染症の分類が、2類から5類に変わり、ライフスタイルがかなりの部分で元に戻りつつあります。食事も以前の様に集まって出来るようになって来ましたが、マスクも個人の判断にゆだねられています。コロナ禍を通じて、それまであまり感じていなかった日常生活にとって大切なことを発見された方も多いのではないのでしょうか?

さて、我孫子地域支部の活動も令和5年度は、「我孫子地域支部 第23回総会」開催、「てが白雲ニュース」の発行、懇親ゴルフコンペ(2回)・3支部合同ゴルフコンペ開催(2回)、他

(3) 千葉県西部支部だより

支部との合同親睦麻雀大会（3回）、日帰り懇親バス旅行（明大和泉校舎・深大寺巡り）、そして新年会・納涼会・忘年会開催等の活動を行ってきました。また、幹事会も隔月1回をベースに、開催されました。幹事会での話題は、事業活動の打ち合わせの他、明治大学マンドリン倶楽部演奏会開催や校友会新規会員の増強の検討等多岐に渡っています。今後、校友会を更に発展した形にしようとする気持ちは全員同じで、令和6年度も、更に前進した校友会活動にしたいと考えています。

令和6年度は、従来の活動に加え、明治大学マンドリンOB倶楽部の演奏会開催や校友会新規会員の増強検討等の計画をしています。明治大学マンドリンOB倶楽部演奏会開催には、特に注力しており、11月30日（土）に、我孫子市の「けやきプラザ」会場での開催を予定しています。開催すれば、平成29年に柏市民文化会館で開催されて以来、7年振りとなる予定です（前回は、我孫子・柏・流山地域支部共催。今回は、当地域支部単独開催）。また、校友会新規会員の増強については、我孫子地域支部の方々のご意見を聞きながら活動を進めて行きたいと思えます。年齢の幅をもって、会員を増やして行くことは今後の校友会活動にとって必要不可欠であり、必要があれば千葉県西部支部の皆さん方のご意見・ご協力を得ながら進めたいと考えています。今年も、我孫子地域支部にとって飛躍の年にしたいと考えており、明大ラ

グビーの精神「一前へ」の気持ちを忘れずに、一歩前に前進して活動を行って行きたいと思えます。（昭和59年工学部卒 阿部美智夫）

柏地域支部

校友会の集まりは今でも楽しみです

明治大学法学部に入学できたおかげで、いまものびのび老後を送れています。

昭和39年に明治大学法学部に入学してきました。弁護士になりたくて入ったので、司法試験の勉強会「法学研究室」に入れていただき、昭和42年の卒業まで司法試験に挑戦しました。在学中に択一試験には合格したのですが、論文で落とされました。

卒業後、昭和43年に文部省の外郭団体に就職しても司法試験を受け続けたのですが、択一試験まで落ちた年があり、その年にたまたま受けた司法書士の試験に合格してしまいました。明治大学での法律の勉強が生きたのだと、今改めて思っています。

昭和48年4月1日「司法書士・佐々木利夫事務所」を一人で始めました。以来51年が経ちました。この間、柏市議会議員を5期20年務めさせていただきました。柏市議になって驚いたのは、昭和50年当時柏市役所には部長職はじめ明治大学の先輩が沢山おられたこと

でした。いろいろご指導いただき、明大卒で良かったなど、つくづく思いました。

議員を辞めてからは自由の身になって、仕事と趣味を楽しませていただいております。

柏市議の時に84年に柏市との姉妹都市「アメリカのトラス市」を議員団の一員として、「中国の承德市」を市民訪問団の一員として訪問したのも楽しい思い出です。

その後は一人で海外を歩いてみたくなり、98年のモスクワ、99年ニューヨーク・ワシントン、03年ローマ、04年ロンドンから15年ベルリン、16年サンクトペテルブルク、17年アムステルダム、18年ミラノ&ベネチア等々、一人旅を楽しんできました。

19年はコロナの為予定をキャンセル、それ以降は海外一人歩きの趣味は忘れて、柏市内の神社巡り、仏閣巡りを終



え、今は市内の公園巡りを楽しんでいきます。

また、09年に明治大学文学部卒の講師・宝井馬琴の主催する「宝井講談修羅場塾」に入り今年の6月で77回目になった講演会には毎回出席していますが、その都度明治大学校友会の有志が応援に駆けつけてくれています。明治大学の先輩、古賀政男さんの講演をしたこともあります。

また、明治大学の校友会柏地域支部づくりにも参加しました。おかげさまで柏地域支部は昨年、創立20周年を迎えることができました。この間、私も歳を重ねましたが、いまでも校友会の集まりを楽しみにしています。（昭和42年法学部卒 佐々木利夫）

船橋地域支部

新型コロナウィルス禍を経て船橋地域支部再スタート



まず、新年度のごあいさつをすべきところですが、今年の元日早々の能登半島での大地震による被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また復興に向けてのボランティア活

動者・関係の皆さまに敬意を表します。校友の中にも親戚・知人・友人等、親しい方の安否や生活を心配されている方もいらっしゃるかもしれませんが、少しでも被害が少なく早い復興を心から祈念いたします。

さて、昨年までの暗黒の闇に覆われたような新型コロナウイルス禍の約3年間を経て、ようやく経済活動が動き出した2023年度。私共の船橋地域支部では支部総会を経て新たな支部長糸井・幹事長山野辺の体制となり、新型コロナウイルス禍のなか停滞せざるを得なかった支部活動を計画通り進めべく取り組んできました。

そうしたなかこれまでの活動に強く意識づけすることになったのが、昨年7月に開催された校友会全国支部長・地域支部長・幹事長会議での校友会会則の変更で、「事業」から「活動」という文言となったことです。ダイバーシティ・多様化等が叫ばれる中、校友会各支部での社会貢献・地域貢献活動が広く社会の要請にこたえる活動になり、一つの「目的」になったと私は理解しています。船橋地域支部では新型コロナウイルス禍前は毎年社会貢献・地域貢献活動としてホースセラピー、隔年でのチャリティーマンドリンコンサートを開催していましたが、今後はこの2つに加えて高齢化する会員の負担が少なく、毎年継続ができる活動も提案・計画し、実行していくつもりです。

また、船橋地域支部は今年で創立20年となり、来年度の記念式典の計画を

立案する年にもなります。今後の船橋地域支部活動を維持・興隆させていくため課題に取り組み、会員のご逝去や新型コロナウイルス禍で心ならずも減少した校友会員を増やし、役員の後釜づくりを行ってまいりますので皆様のご指導・ご支援をお願いいたします。

(昭和55年商学部卒 糸井 大恵)

市川地域支部

市川地域支部

この一年の活動内容

2019年度の開催を最後に2020年から2022年までの3年間に渡り、新型コロナウイルスのために開催できなかった明治大学校友会市川地域支部の総会を、ようやく4年ぶりに開催することができて、5月14日「山崎製パン 企業年金基金会館」に待ち望んでいた会員多数が参集して旧交を温めることができました。6月3日には3月20日に逝去された市川地域支部の名誉支部長であり、千葉県西部支部の顧問でもあり、校友会活動の推進に尽力いただいた佐川清様とお別れする「偲ぶ会」が執り行われました。

猛暑が続く高齢者にはつらい夏でしたが、暑さに負けず恒例の「ボウリング大会&ビアパーティー」が8月26日、これも4年ぶりに開催されて、ボウリングで汗を流したあと、ビアパーティー

で飲んで食べて楽しく歓談しました。11月3日、毎回市川地域支部もブースを出して参加している「第48回いわかわ市民まつり」が大洲防災公園で開



催されました。雲一つない晴天で11月とは思えないような夏日の中、多くの市民が訪れ、様々なイベントやアトラクションが行われて賑わいましたが、市川地域支部も明治大学のPRとグッズ販売、校友会会員募集などを行いました。また市川市と姉妹都市を締結している米国ガーデンナ市より締結60周年を記念して、ガーデンナ市訪問団が来訪されていて、ガーデンナ市長のターシャ・セルダ (Tasha Cerda) さんが田中甲市川市長とともに明治大学市川地域支部のブースを訪問いただき、伊与久美子市川地域支部長と記念撮影をいたしました。ターシャ・セルダ市長には記念に市川地域支部のハッピーと明治大学のベースボールキャップをプレゼントし

で大変喜んでいただきました。

令和6年2月3日には、市川地域支部新年会を開催しました。昨年より多い58名の校友、うち15名が平成年度卒業と中堅・若手も多く参加いただき、本八幡「うえだ別館」に参集して懇親を深めました。また、能登半島地震で被災された明治大学生への支援のための募金を実施しました。

(昭和47年政経学部卒 明村澄雄)

流山地域支部

地域支部連携の動き

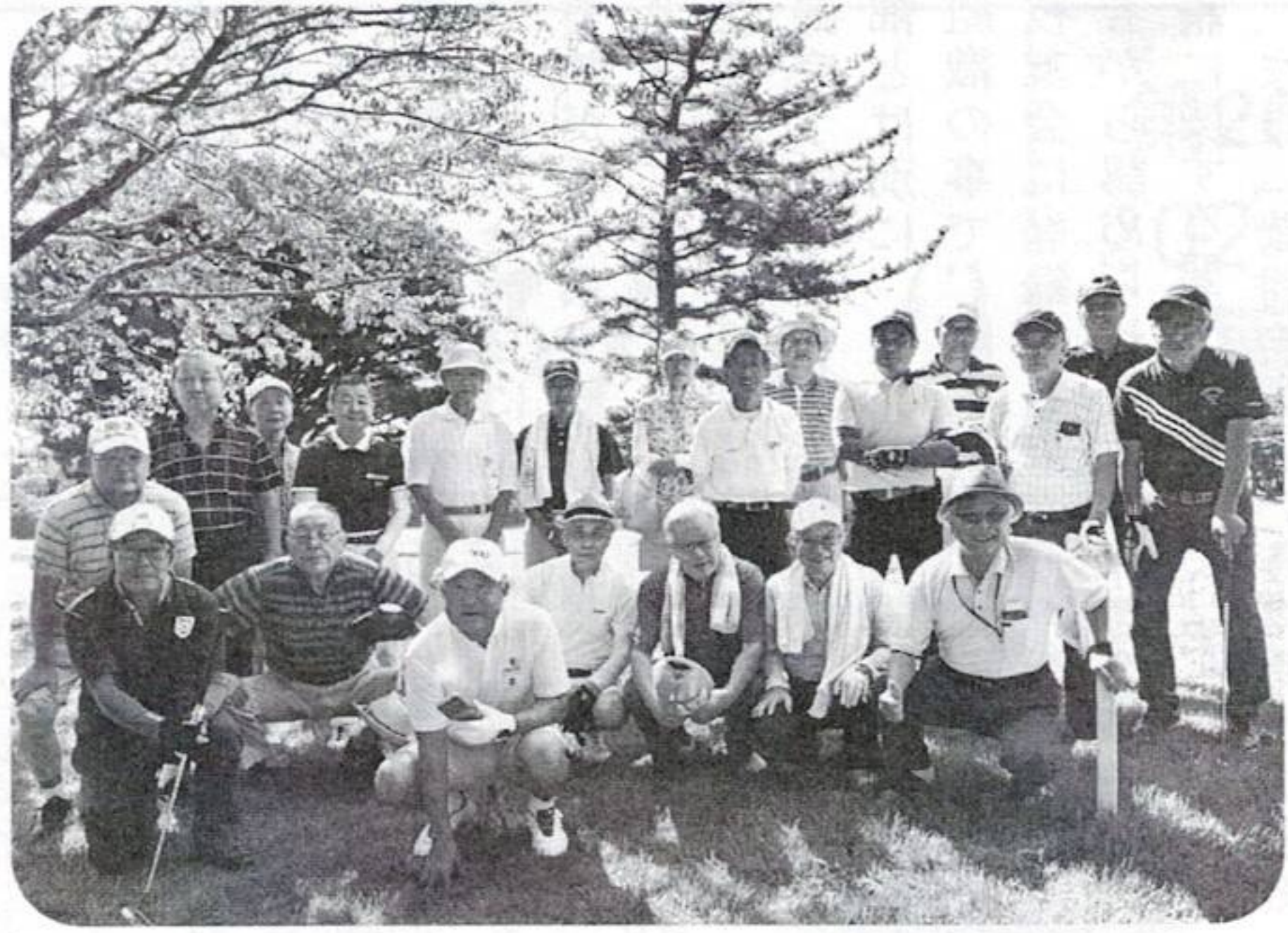
そして活動「前へ！」

2023年度の流山地域支部は広井支部長・川根幹事長の新体制でスタートしております。課題としましては、新規会員募集、イベントの活性化、新規会員の登用などがありました。

新規会員募集は非常に大きな、そして難しい課題であります。暗中模索する中、まずは時間的に余裕の出できような年齢の方(とりあえずは昭和50年(60年卒)をターゲットとして、大学から情報提供頂いた名簿に対してダイレクトメールを送り、現在勧誘進行中です。一挙にたくさんの方の獲得は望めませんが、牛歩のような歩みも無駄にはならないと思います。

イベントで大きな成果になりつつあるのは、従来は我孫子と柏を含めた3

地域支部で行っていたゴルフ大会が、9月には松戸地域支部も加わって、東葛地域支部の大会に発展しました。更



(5) 千葉県西部支部だより

には、12月に開催された千葉県東西支部の親睦ゴルフ(真名カントリー)に参加したきっかけにより、東葛飾の4地域支部に今度は市川・船橋・浦安の3地域支部が加わって、今年の3月に茨城県のセントラルゴルフクラブにおいて初めて千葉県西部支部の大会として開催できたことが挙げられます。地域支部の横の繋がりが機能し始めていく事を大切にしていきたいです。

その他イベントとしては9月にはコロナにより数年お休みしていたバスハイクを復活させ、川越の古い街並みを楽しみました。3月と9月には3地域支部(我孫子・柏・流山)の麻雀大会

に参加し、9月の成績では上位入賞者も数人出て、流山地域支部の成績も挽回の兆しを見せ始めました。前年から始めたB B Q大会も10月に流山セントラルパークの総合運動公園内で継続開催され、チーム対抗ゲームの余興が特に好評でした。12月には当然ながらラグビー応援です。チケットの入手方法には苦労していましたが、今年は校友会(大学校友連携事務室)による手配で入手できたことが画期的であり、翌年以降も継続していけると幸いです。

ラグビー後(同じ日程)の忘年会では、早稲田に勝って勢いよく乗り込んだところ、予約しておいた店が現地に行ってみると違う店になっていて、大慌てはしたものの、安価に楽しく開催することができ、また若手の初参加もあり賑やかな一晩になりました。

役員の新規就任があり、積極的な活動をしてもらっています。また、来期については新たに女性の役員も増える予定で、執行体制を盛り上げていってもらいたいと思います。

2023年の活動全般としてはイベントへのニューフェイスの参加が見られ、あるいは女性の参加者も増えつつあるように思われ、2024年以降に繋げていきたいと考えます。

(昭和54年法学部卒 佐藤雅昭)



地域支部の活動に
参加しよう

明治大学校友会は、それぞれの居住地に居住する校友が中心となって地域支部を形成しています。

そこには80歳を超えるお元気な先輩や、今年新社会人となったばかりの校友など、年齢は様々な校友が集い、和気藹藹と活動しています。

学生時代の4年間では、クラブ活動やゼミでの先輩・後輩との交流を持たれた方は数多くいらっしゃると思いますが、地域支部はその地域に居住する、年齢も社会経験も生活環境も異なる方々が、「明治大学OB」という絆で集まっています。

総会やイベントの最後には肩を組んで校歌を斉唱し、再会を約束して解散となります。

今年も各地域支部が様々なイベントを用意して、校友との交流を計画しています。ぜひお住いの地域支部の活動に参加してみてくださいいかがでしょうか。

各地域支部の総会・懇親会

我孫子	4月13日	けやきプラザ
市川	5月19日	山崎製パン企業年金会館
流山	5月25日	割烹せきや
柏	5月26日	ハート柏迎賓館
船橋	6月9日	山崎製パン企業年金会館
浦安	6月22日	オリエンタルH東京ベイ
松戸	開催なし	(書面表決の予定)

第60回全国校友香川大会
のお知らせ

おいこまあせ
お接待の心 ひろこ県

今年の全国校友大会は、4年前に企画されながらも新型コロナウイルスの関係で開催が中止となっていた香川大会(高松市)が、満を持して開催されます。

香川県は四国の玄関口、近年は名物のさぬきうどんをPRする意味で「うどん県」としても知られています。

弘法大師こと空海の故郷でもあり、現在でもお遍路さんを温かくお迎えする「おもてなし」の文化が色濃い地域でもあります。

4年前にかなわなかった大会の成功を目標に、香川県支部の会員総力を結集し、全国からの校友を迎える準備に余念がないそうです。

ぜひ今年の香川大会には大勢の校友に参加していただきたく、お願いいたします。

9月28日(土)

前夜祭

JRホテル クレメントタカマツ

9月29日(日)

記念式典

サンポートホール高松

懇親会

JRホテル クレメントタカマツ

第4回支部長・幹事長

会議が開催されました

令和6年2月24日午後2時より、明治大学リバイホールにおいて、明治大学校友会の全国の支部長・幹事長の合同会議が開催されました。

会議の冒頭に、北野校友会会長より、1月1日に発生した能登半島地震により犠牲となった方々への哀悼と被災された方々へのお見舞い並びに一刻も早くの復興を祈念する言葉がありました。会議の議題としては

①令和6年度校友会予算(案)については、収入・支出それぞれ6億1341万7662円の予算について、詳細な説明がありました。

②第60回全国校友香川大会に併せた「支部長・幹事長・地域支部長・本役員懇親会」の開催については、9月29日の大会前に開催してほしいとの要請が香川県支部の函子支部長からありました。

③紫紺会の登録申請要項及び商標の登録完了について「紫紺会」は、地域支部とは別に、校友が自主的に設立した組織の事で、職業別やゼミのOB会等を校友会に登録する事でその活動が校友会から認められます。今回この登録申請に関する要項が定められました。

また「紫紺会」という名称が令和5年11月1日に特許庁において商標登録されたとの事です。

④「明治大学広報」全国校友号発送に関する協力については、現在大学から年2回の明治大学広報を無料で発送していますが、発送に掛かる経費が増加している事から、郵送費の一部負担を校友会にお願いしたいとの要請がありました。

以上4件の議題について決を採ったところ、異議なく了承されました。

その後の報告については、まず北野校友会会長から、「能登半島地震に関し、各支部に対し①被災した本学学生への経済支援、②被災地の方々の生活支援にご理解を賜り、より多くの校友へ支援の輪を広げる呼びかけをお願いいたします。」との言葉がありました。

これを受け、学生支援部からは大学のホームページにある「明治大学災害・家計急変奨学資金」(被災学生の経済支援)から義援金をお願いしたい旨の連絡がありました。

また、今後郵送費の値上げが予定されていることから、支部総会の案内発送の経費が高騰することに鑑み、各支部会員のメールアドレスの把握に努めて欲しいとの連絡がありました。

出来れば今年度の総会案内の返信はがきにはメールアドレスの記入欄を設け、その把握に努めて欲しいとのことでした。

その他、昨年開催された第59回全国校友愛知大会の収支報告を始め、14件の報告事項があり、午後4時に約2時間わたる会議は終了しました。

明治大学被災学生への経済支援のお願い (明治大学学生支援部より)

今回の令和6年能登半島地震で被害を受けた本学学生及びその御父母に対して「明治大学災害時特別給費奨学金(給付型)」により経済的支援を行います。この奨学金は「明治大学災害・家計急変奨学資金」を原資としており、その目的は特定の災害被害学生に限定したものではありません。近年多発している自然災害や家計急変等により、学業に支障をきたす多くの学生に対してこの資金を活用して経済的支援を提供してまいりました。

今回の地震で被害を受けた学生への支援をさらに充実させるために、皆様からの寄付によるご協力をよろしくお願い申し上げます。

明治大学災害・家計急変奨学資金(被災学生への経済支援)

<https://www.meiji.ac.jp/bokin/info/mkmht000000yfgcd.htm>

令和6年能登半島地震災害義援金(日本赤十字社に拠出)

<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/>

*義援金等の振込や各種手続きについては、各県単位支部・地域支部又は各校友ご自身で行って頂きますようお願い申し上げます。

*芳名の記載は4月～9月の寄付は明治大学広報1月号に、10月～3月の寄付は9月号に記載されます。

編集後記

昨年6月の支部長交代に伴い、支部だより編集委員も新体制になりました。原稿も揃い、いざ入稿という時に、今まで依頼していた印刷所の担当されていた方が退職されたため、データはすべて完結した形での入稿でないと印刷出来なるとか編集を行う事が出来ませんでした。従来の支部だよりと比べ、見栄えの悪い点はあろうかと思いますが、今後試行錯誤を重ね、編集ソフトを駆使して、より良い形にしようと思っております。今後に期待していただければ幸いです。

編集委員

服部 真樹(編集長・浦安)	土屋 成美(松戸)
阿部 美智夫(我孫子)	山田 秋彦(柏)
山崎 とよ子(船橋)	明村 澄雄(市川)
佐藤 雅昭(流山)	板橋 純三郎(幹事長)